



かみっこ



新年度を迎えて



- ・ **いきいきと学習する子**
話そう・伝えよう
- ・ **のびのびと活動する子**
自分から動こう
- ・ **ちからいっぱい運動する子**
チャレンジしよう

秦野市立上小学校長・幼稚園長 中村 克己
TEL 88-0274 FAX 87-3809

上小学校長・幼稚園長として4年目をむかえました。引き続きお世話になります。よろしくお願いいたします。今年度少人数特認校2年目となる小学校は新入学児童12名（学区外6名）と2～6年生に学区外から転入7名をむかえ68名、幼稚園は新入園児3名をむかえ9名でのスタートとなりました。

さて、一昨年度より「いきいき **のびのび** **ち**からいっぱい輝くかみっこ」を目指し、それを達成するために、新年度にあたり子どもたちに2つ話しました。それは、「自分の思いを伝えること」と、「人の話をしっかり聞くこと」です。

自分の思いを伝え、相手の思いを受け止めることは、人間関係を築く基本であり、この繰り返しにより人間関係が深まり広がっていくと考えています。68名と9名合わせた77名で、お互いに刺激し合いながら、新しい人間関係づくり、学びの場を作っ

ていきたいと思ひます。小さな経験を積み重ねることにより、自分の思いを伝えたり、相手の思いを受け止めたりする力は高まるはずです。ご家庭でも、お子さんからたくさん学校や園の話聞き、思いを受け止め、お家の方の思いも伝える機会を増やしていただきたいと思ひます。学校や園のことに限らず、たくさんのお話をしあけてください。

そして、8日（木）は幼稚園の入園式で3名の新入園児は、これから上幼稚園・上小学校で過ごす8年間のスタートです。お兄さんやお姉さん、地域の方々を支えられ、日々成長していく姿を見守るとともに応援をお願いします。

さて、上小学校・幼稚園でこれまで大変お世話になりました諏訪部日路江先生のご退職、下原修教頭先生、多田出奈都美先生、吉川良子先生の異動、蒔野利依子学校司書、白石泰夫SC、六本木康教育支援相談員、新津亨・桐生敦子スクールホ-トスタッフの離職がありました。

新たに上小学校に柳川佳子教頭先生、荒真理子先生、宇佐美琢也先生、藤島初子学校司書、佐藤一廣SC、上村一行スクールホ-トスタッフが、上幼稚園に増井佳苗先生が着任いたしました。子どもたちが、「笑顔で毎日行きたくなる学校・園」「保護者にとって通わせがいのある学校・園」を、教職員一丸となって目指していきたいと思ひます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策で、2か月間の休校があり、多くの学校行事が中止となり、様々な制約を強いられる中での教育活動となりました。

令和3年度は、本来ある上小学校の行事の実施に向け、細心の注意を払いながら進めていきたいと考えています。今後、新型コロナウイルス感染状況等で、予定も変更をせざるを得ないことも考えられます。その都度、ご家庭にお知らせしていきますので、ご理解とご協力をお願いします。

上小学校・幼稚園の安全対策（令和3年度）

本校・園では、災害に備え次のような対策をとっています。皆様にご確認させていただくと共に、ご理解・ご協力をお願いします。また、日頃の連絡手段である安心メールや電話が使用できない事態も予測されるため、安全を最優先にあわてずに行動してください。

1 地震（震度5弱以上）

ー学校・園にいる場合ー

- ・直ちに授業・保育を中止し、安全を確保する。揺れが収まったら、保護者への引き渡しによる下校・降園を行う。メール配信が可能な場合は、安心メールにより連絡する。学校・園は、保護者もしくは引き取り人名簿に記載のある方以外への引き渡しは行わない。
- ・保護者や引き取り人名簿記載者による迎えがあるまで、児童・園児は学校・園で保護する。
- ・非常食（ビスケット缶）、水（500mL）、防寒シートを校内に全児童・園児数保管している。

ー登下校・登降園中ー

- ・児童・園児は、安全な場所に一時避難、揺れが収まったら、学校・園か自宅のいずれか安全で近い方に移動する。移動の際は、ランドセル等で頭を守り、落下物に注意し、壊れそうな建物や塀、がけ、河川、地割れしたところに近づかないようにする。
- ・保護者は、通学・園路を徒歩により、安全を確認しながら児童・園児の引き取りに向かう。

ー家庭にいる場合ー

- ・電話、携帯電話、メールなどの使用もしくは家庭訪問により児童・園児の安否確認を実施する。
- ・校区内の通学・園路、学校・園施設等の安全が確認でき次第、安心メールにより授業・保育再開の連絡を実施する。必ず、学校・園からの連絡を受けてから、児童・園児を登校・登園させる。

2 訓練

- ・年間5回の避難訓練（想定：火災、地震と火災）、1回の引き渡し訓練、年間1回の集団下校・降園訓練（風水害）等を行うとともに、学級指導等で避難の仕方を指導する。
- ・校園内の防火防災対応マニュアルに基づき、安全を確保する。

3 台風、大雪等

- ・台風、または大雨警報と暴風警報が同時に発令された時は、市教育委員会と相談の上、市内小学校幼稚園一斉対応（休校園・登下校園時刻の変更）をとる。
- ・地域により必要な措置があれば、登下校・登降園の時刻を変更する等の措置をとる。
- ・変更に伴う連絡は、あらかじめプリント等で周知、その旨を当日安心メール配信で連絡する。

4 ゲリラ豪雨、雷、竜巻、大雪等（市の防災情報、報道機関の情報を参考）

- ・登校・登園前、下校・降園後、在宅中→安心メールで配信する。
- ・登下校・登降園中→安心メールで配信するとともに、教職員が通学・園路のポイントに移動し安全指導する。
- ・自宅に近いときは自宅へ避難する。学校・園に近いときは、学校・園へ避難する。それ以外の場合は、子ども110番の家、あるいは近くの家へ避難させていただく。
- ・授業・保育中→校園内で安全な場所に避難後、下校・降園を早めるか遅らせるかを判断し、メール配信する。集団下校・降園や児童・園児引き取りにする場合もある。
- ・雷や豪雨の際は、状況をみて児童・園児を学校・園に待機させる。場合によっては、教職員指導のもと高学年に合わせて、一斉下校・降園・集団下校・降園等の対応をとることもある。（メール配信）
- ・緊急時のお迎えの際は校地内ロータリーの使用を認めるが、児童・園児の安全に配慮し最徐行とする。

5 不審者対応、猪、熊等の動物出没等

4の場合に準じた対応とする。